

「第3次宇都宮市市民協働推進計画(後期計画)」進行管理表

シートNo.	取組No.	事業名	所管課
1-1	1	【重点・拡充】まちづくり活動参加に向けた意識改革	みんなでまちづくり課
	2	【重点・拡充】時代に即した自治会加入の啓発	
	3	【重点・新規】女性や女性団体のまちづくり活動への参加意識の啓発	男女共同参画課 みんなでまちづくり課
	4	【重点・新規】外国人のまちづくり活動への参加意識の啓発	多文化共生推進課 みんなでまちづくり課
	5	まちづくり活動応援事業	みんなでまちづくり課
	6	【新規】まちづくりへの意識を高める学習の推進	生涯学習課 みんなでまちづくり課
	7	青少年対象事業	生涯学習課
	8	【新規】共生のこころをはぐむプロモーション事業	保健福祉総務課
	9	宇都宮ブランド戦略における市民参加型事業	都市ブランド戦略課
2-1	10	【重点・新規】地域における女性リーダー育成	男女共同参画課
	11	(再)まちづくり活動応援事業	みんなでまちづくり課
	12	【拡充】活動体験機会の提供	
	13	(再)【新規】まちづくりへの意識を高める学習の推進	生涯学習課
2-2	14	【新規】地域イベント等参加促進支援事業	保健福祉総務課
	15	【重点・新規】「宮デジサポーター」養成事業	デジタル政策課
	16	【重点・新規】外国人のまちづくり活動への参加促進	多文化共生推進課 みんなでまちづくり課
	17	【新規】新たな担い手確保に向けた人材育成	生涯学習課 みんなでまちづくり課
	18	多様な活動主体への支援(まちぴあ)	みんなでまちづくり課
	19	多様な活動主体への支援(地域行政機関)	
	20	高齢者等地域活動支援ポイント事業	高齢福祉課
	21	【新規】「うつのみやデジタルスクエア」の活用促進	デジタル政策課
	22	地域集会所等建設費補助	みんなでまちづくり課
	3-1	23	(再)まちづくり活動応援事業
24		【重点・新規】地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業	保健福祉総務課 みんなでまちづくり課
25		(再)【新規】「うつのみやデジタルスクエア」の活用促進	デジタル政策課
3-2	26	【重点・拡充】自治会活動の活性化及び加入促進に向けた取組の強化	みんなでまちづくり課
	27	【重点・新規】地域デジタル化の推進	みんなでまちづくり課 生涯学習課 デジタル政策課
	28	(再)【新規】新たな担い手確保に向けた人材育成	生涯学習課 みんなでまちづくり課
	29	【重点・新規】女性や女性団体の活躍に向けた支援	みんなでまちづくり課 男女共同参画課
	30	(再)【重点・新規】「宮デジサポーター」養成事業	デジタル政策課
	31	地域まちづくり組織の活性化支援	みんなでまちづくり課
	32	(再)まちづくり活動応援事業	
	33	市民活動助成事業	
	34	団体の組織基盤強化への支援	
	35	【新規】宇都宮市ふるさと納税公益活動支援事業	都市ブランド戦略課
4-1	36	【重点・拡充】公民連携事業の推進	政策審議室 (地域振興・共創推進室)
	37	【重点・拡充】NPO等による地域課題等への取組の推進	みんなでまちづくり課
	38	(再)まちづくり活動応援事業	
	39	(再)市民活動助成事業	市政研究センター 商工振興課
	40	市内大学との連携	
	41	CSR認証事業	
4-2	42	多様な活動主体への参加促進支援事業	みんなでまちづくり課
	43	職員向け研修等の開催	
4-3	44	(再)【新規】「うつのみやデジタルスクエア」の活用促進	デジタル政策課
	45	多様な活動主体の連携支援事業	みんなでまちづくり課

「第3次宇都宮市市民協働推進計画(後期計画)」計上事業の進捗状況

基本目標1 地域社会の一員として自発的な協働意欲が形成されている
基本施策1-1 協働を促進する意識づくり

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
1	【重点・拡充】 まちづくり活動参加に向けた意識改革	世論調査の結果において「参加したいとは思わない」(令和3年度25%)と回答した層や、女性や外国人など多様な人々に対し、まちづくり活動に対する意識改革を図ります。	まちづくり活動への無関心層をはじめ、多様な人々への体験講座の開催や、SNS等を活用した先進活動事例の発信等に取り組みます。	定量	まちづくりセンターが開催するボランティア体験プログラム事業等参加者数 設定理由: ボランティア初心者等を対象とした事業の参加者数を通して無関心層等の意識改革の状況を把握できると考えられるため	人	目標値		400	425	450	475	500	まちづくり活動に参加したいと思わないという層や、女性や外国人などに対し、まちづくり活動に対する意識改革を図るため、まちづくりセンターにおいて、幅広い世代や多様な人々に対する体験講座を実施する。	・市民協働のまちづくりの拠点施設として、まちづくりに関する相談対応やボランティア等の人材育成支援等に取り組み、高い水準の高い満足度を維持している。 ・多様な主体による協働のまちづくりの重要性の高まりに加え、利用者数の減少や施設の老朽化等の環境変化を踏まえつつ、センターの認知拡大・利用促進や支援機能の強化に取り組む必要がある。 ・自治会等の団体やまちづくりに関心のある若者を対象に「デジタルを活用したまちづくり」等の勉強会を開催するなど、引き続き、まちづくり活動の活性化や活動主体間の連携・協力の促進に取り組む。 ・多様なまちづくり活動主体の連携・協力の強化に向けたセンターの機能の更なる発揮ができるよう、次期指定管理更新に向け、仕様書の見直しなどに取り組む。	みんなでまちづくり課	
							実績値	415	484								
							達成率	—	121.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
							評価	—	A								
2	【重点・拡充】 時代に即した自治会加入の啓発	ライフスタイルの変化や価値観の多様化に柔軟に対応し、未加入者に対する加入促進や高齢者の退会防止を図ります。	子どもの就学時や大学・専門学校等入学時など、幅広い世代への機会を捉えた周知啓発を行うとともに、自治会長等の意識醸成に向けたシンポジウムや研修会等の開催の支援に取り組みます。	定性	自治会長等の「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向けた意識醸成を図るための仕組みづくり 設定理由: 新規に事業を検討しているため	世帯	目標値		シンポジウムの開催	事業内容検討	ブロック単位での実施	ブロック単位での実施	ブロック単位での実施	地域まちづくり活動の活性化や活動の担い手の確保を図るため、自治会長等の自治会活動への意識改革のための研修会等の開催を支援する。 ・自治会役員をはじめ、若者や女性、働く世代、企業など、それぞれの立場で未来の自治会の在り方について話し合う「宇都宮市自治会シンポジウム」を開催し、351名にご来場いただき、「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向けた意識醸成を図ることができた。 ・「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向けた意識醸成については、継続的な支援を図っていく必要がある。	・「誰もが参加しやすい自治会づくり」への機運を各地区に浸透させるとともに、「魅力ある自治会づくり支援事業補助金」を活用した他のモデルとなる取組の横展開を図るため、各地区におけるシンポジウムの開催に向けた仕組みを検討する。	みんなでまちづくり課	
							実績値										
							達成率	—	—	—	—	—					
							評価	—	A								
3	※ 【重点・新規】 女性や女性団体のまちづくり活動への参加意識の啓発	自治会活動をはじめとする、まちづくり活動における女性や女性団体の活躍促進を図ります。	地域活動団体等に対し「男女共同参画・女性活躍」の意識を醸成していくほか、女性活躍の事例集の作成や事例発表の場などを積極的に活用し、周知・啓発に取り組みます。	定量	地域で活躍する女性や女性団体の事例発表会の開催 設定理由: まちづくり活動への参加意識の啓発にあたっては、実際の取組事例の共有が重要と考えられるため	回	目標値		1	1	1	1	1	女性活躍の事例集や、男女共同参画推進センター「アコール」で実施している「地域における女性リーダー養成講座」等を活用し、啓発を実施する。 ・「地域活動における女性参画推進セミナー」において、地域で活躍する女性の活動事例発表やグループワーク等を実施し、地域における男女共同参画や、女性活躍の必要性について、意識啓発を行った。 ・男女共同参画情報誌「ばーとなーしつぷ」において、地域で活躍する女性や団体を紹介することにより、地域活動における女性活躍の促進につなげることができた。	引き続き、「地域活動における女性参画推進セミナー」において好事例を発表し、地域における男女共同参画や女性活躍の必要性について意識啓発に取り組むとともに、事例集を作成し、その事例を講座や交流会の中で活用することで、更なる意識醸成に取り組んで行く。	男女共同参画課 みんなでまちづくり課	
							実績値	—	1								
							達成率	—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A								

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
4	※ 【重点・新規】 外国人のまちづくり活動への参加意識の啓発	市内在住の外国人のまちづくり活動参加への関心を高めるとともに、地域活動団体等に対し、外国人と協働した活動の実施など、多文化共生への意識の向上を図ります。	外国人のまちづくり活動への参加意識の啓発に取り組みます。	定量	外国人や地域まちづくり組織などへの情報発信数(SNS、まちづくり組織全体会、広報紙ミニ特集) 【設定理由】外国人の参加意識の啓発にあたっては、外国人へ地域行事などを情報提供し関心を高めるとともに、地域の方々や広く市民にも外国人のまちづくり参加に向けた意識啓発が重要と考えられるため	回	目標値		2	3	3	3	3	外国人市民にまちづくり活動に関する情報を発信していくとともに、地域活動団体等に対し、外国人市民の状況やコミュニケーションのポイントなどの情報提供に取り組む。	広報誌のミニ特集で多文化共生についての情報を発信することで広く啓発したとともに、留学生の地域行事への参加促進などにも取り組んだ。また、地域で開催する国際理解講座の参加者に多文化共生の意識啓発チラシを配布したほか、まちづくり懇談会において、外国人の地域参加に向けた啓発チラシを作成し配布を開始した。	まちづくり活動に関する情報を外国人向けに発信していくとともに、引き続き、外国人の地域参加に向けた啓発チラシをまちづくり懇談会で配布するとともに、まちづくり協議会全体会でも配付していく。	多文化共生推進課 みんなでまちづくり課
5	まちづくり活動応援事業	まちづくり活動への参加促進と活動の活性化を図ります。	スマートフォンアプリやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、地域活動団体やNPOの活動情報の発信に取り組むとともに、活動参加者にポイントを付与します。	定量	まちづくり活動応援事業活動参加者数 設定理由:まちづくり活動応援事業の取組状況を定量的に測ることができたため	人	目標値		7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	まちづくり活動への参加促進とまちづくり活動の活性化を図るため、スマートフォンやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、活動参加者にポイントを付与するとともに、地域活動団体等の活動情報を発信する。	・市内全域において、本事業が活用されるよう、引き続き、「まち活応援隊」(地域行政機関職員)による「1地区1モデル事業」の創出支援に取り組んだほか、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修に取り組むとともに、地域活動団体、NPO、企業等を対象とした事業説明会の開催や、SNSなどを通じた事業PR動画の周知による事業の普及啓発を行った結果、活動者等の登録の増加や活動機会の創出を図った。 ・更なる参加促進を図るため、引き続き、地域活動団体、NPO、企業等に対し、まちづくりセンターと連携しながら、本事業の参加方法、仕組みなどについて周知する必要がある。 ・市内全域において、本事業が活用されるよう、参加者(団体・個人)の登録促進や相談支援の充実を図る必要がある。	・活用促進が図られるよう、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修を行うほか、活動者の「励み」や実施団体の「活力向上」につながるよう、引き続き、まち活応援隊やまちづくりセンターと連携しながら、活動事例集や事業PR動画等を活用し、活動団体等に対する事業の理解促進、参加促進に向けた効果的な方策を検討し、実施していく。	みんなでまちづくり課
6	※ 【新規】 まちづくりへの意識を高める学習の推進	まちづくり活動の新たな担い手確保につながるため、多様な人々のまちづくり活動への参加意識の向上を図ります。	自治会活動等の地域まちづくりについて知る機会や、防災、安心・安全、地域共生など、まちづくりに関するテーマにより、地域で互いに支え合う意識を高める生涯学習講座等の企画に取り組みます。	定量	地域学、宇都宮学の受講者数 設定理由:地域理解に関する住民意識の向上を定量的に図ることのできる数値であるため	人	目標値		1,000	1,050	1,100	1,150	1,200	郷土愛や住民意識を醸成し、地域づくりやまちづくりの取組を促進するきっかけとするため、全ての市民が地域課題や魅力を発見・共有する「地域学」、本市独自に創設した、宇都宮の歴史や文化を知る「宇都宮学」講座等を実施する。	・生涯学習センターで開催する様々な講座において、地域理解につながる内容を取り入れ、改めて自分の住む地域に目を向ける機会、考える機会をつくった。 ・実施にあたり、地域への興味や関心を促すだけでなく、受講者が地域の課題に気づき、課題解決に向けた主体的な学習・活動へ結び付けることが必要である。	地域理解につながる内容を講座に取り入れ、改めて自分の住む地域に目を向ける機会、考える機会を創出し、地域課題解決に向けた主体的な学習・活動へ結び付け、地域を支える人材の育成ができるよう取り組んでいく。	生涯学習課 みんなでまちづくり課
7	青少年対象事業	ボランティア体験等を通して、青少年の道徳心や規範意識等の醸成を図ります。	各種団体等と連携した事業など、多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応した講座の開催に取り組みます。	定量	青少年対象講座の実施回数/参加者数 設定理由:青少年の体験活動を定量的に計ることのできる数値であるため	人	目標値		30	31	32	33	34	・社会の変化に対応できるよう、体験活動や異年齢との交流等、多様な青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応した講座を実施していく。 ・各種団体との連携やICTの活用など、多様な形式でより多くの青少年の参加意識を高めるとともに、学習環境を整え、道徳心や規範意識等の醸成を引き続き図っていく。	・科学実験や伝統工芸づくりなどの参加型の様々な体験活動を通して、学ぶ楽しさを感じる機会を提供し、学習意欲の向上を図った。 ・外国人や親子、参加者同士で共に学ぶことを通じて、普段経験することのない異文化交流や異年齢での交流の輪を深め、青少年の規範意識や道徳心の習得、地域理解の醸成に取り組んだ。 ・より多くの方に参加してもらえよう、青少年に向けた情報提供が必要である。	・多様化する学習ニーズに対応できるよう、青少年の参加しやすい時期や講座内容を検討し、事業の充実を図っていく。	生涯学習課

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
8	【新規】 共生のこころをはぐくむプロモーション事業	地域共生社会の実現に向け、共生のこころをはぐくむ人づくりの推進を図ります。	市民参加型のイベントやワークショップの実施のほか、様々な媒体(ホームページ、SNS、YouTube等)を活用した周知・啓発に取り組みます。	定性	共生のこころをはぐくむプロモーション 【設定理由】 共生のこころをはぐくむため	件	目標値	—	—	—	—	—	—	地域共生社会の実現に向けて、誰もが地域社会の一員としてその地域と関わり合いながら、支え手となれるよう、共生のこころをはぐくむ人づくりの推進に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市有施設等における「地域共生のこころをはぐくむプロモーション動画(宇都宮エンジン)」の放映や広報紙への特集掲載、地域コミュニティラジオ「ミヤラジ」への出演、LRT開業記念事業におけるブースの出展に加え、市民福祉祭の祭典における「認知症・発達障がいに関するVR体験会」の開催など、様々な機会を捉えて周知に取り組み、市民の福祉意識の向上や地域共生社会の理解促進が図られた。 ・地域共生社会の実現に向け、さらなる市民の意識向上や理解促進を図り、行動変容につなげていくため、周知啓発の継続・強化に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広報紙への情報掲載やミヤラジへの出演などを行うほか、より多くの市民の目に触れるよう、地域共生社会のLP(ランディングページ)をSSC特設サイトに統合するとともに、市民をはじめ相談支援機関や地域団体などに対して、地域共生社会の実現に係るリーフレットなどを配布するほか、宮みらいライトヒル(宇都宮駅東口交流広場)のデジタルサイネージ等でプロモーション動画を放映するなど、周知啓発の強化に取り組んでいく。 	保健福祉総務課
実績値	—	—	—	—	—	—											
達成率	—	—	—	—	—	—											
評価	—	A	—	—	—	—											
9	宇都宮ブランド戦略における市民参加型事業	宇都宮ブランド戦略を推進し、郷土愛や住居意識の醸成を図ります。	ブランドメッセージ「住めば愉快だ宇都宮」を活用し、市民自らによる本市の魅力発信の推進に取り組みます。	定量	オリジナルロゴマーク作製数 設定理由:市民参加型の魅力発信の取組であるため	件	目標値		1,430	1,510	1,590	1,670	1,750	オール宇都宮でのブランドメッセージ「住めば愉快だ宇都宮」の活用をはじめ、ミヤリーキャラバンや出前講座を通じた市民参加・交流を通じて、シビックプライドの醸成を図り、市民が本市の魅力を自らPRするなど、市民参加型のブランド戦略を推進する。	令和5年度については、当初の目標件数に近い件数のオリジナルロゴマークの申請があったが、令和4年度と比べ申請件数は減少している。 (令和4年度:99件→令和5年度:62件)	引き続き、オリジナルロゴマーク等を通じた市民参加型のブランド戦略を推進する。	都市ブランド戦略課
実績値	1,366	1,428															
達成率	—	99.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%											
評価	—	B															

【活動指標(基本目標1)】

指標名(単位)	項目	R3 (基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	R9
生涯学習センター等における講座の受講者数(人)	目標値							50,000
	実績値	14,026	25,063	35,322				

基本目標2 まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している
基本施策2-1 参加しやすい機会の提供

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課	
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針		
10	【重点・新規】 地域における女性リーダー育成	男女が共に政策や方針などの意思決定の場に参画できるよう、地域や団体等で活躍する女性リーダーの育成を図ります。	男女共同参画推進センター「アコール」等において、講座や交流会等の開催に取り組みます。	定量	女性リーダー育成に関する講座等の開催回数 設定理由:地域における女性リーダーの育成の取組状況を定量的に測ることができるため	回	目標値		1	1	1	1	1	1	・地域における女性リーダーを育成するため、男女共同参画推進センター「アコール」等において、講座や交流会等を開催し、女性リーダーの必要性や理解促進のほか、情報誌などで周知啓発を実施していく。	「地域活動における女性参画推進セミナー」において、女性リーダーの必要性等の講義と地域で活躍する女性の活動事例発表、グループワークにより、参加者の地域活動への積極的な参画と、リーダーとして活動する意欲を高めることができた。 ・まちづくり活動への参加意識の啓発が図られた。	引き続き、地域における女性リーダーを育成するため、講座や交流会を開催する。	男女共同参画課
11	(再) まちづくり活動応援事業	まちづくり活動への参加促進と活動の活性化を図ります。	スマートフォンアプリやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、地域活動団体やNPOの活動情報を発信に取り組みとともに、活動参加者にポイントを付与します。	定量	まちづくり活動応援事業活動参加者数(再掲) 設定理由:まちづくり活動応援事業の取組状況を定量的に測ることができるため	人	目標値		7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	まちづくり活動への参加促進とまちづくり活動の活性化を図るため、スマートフォンやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、活動参加者にポイントを付与するとともに、地域活動団体等の活動情報を発信する。	・市内全域において、本事業が活用されるよう、引き続き、「まち活応援隊」(地域行政機関職員)による「1地区1モデル事業」の創出支援に取り組んだほか、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修に取り組むとともに、地域活動団体、NPO、企業等を対象とした事業説明会の開催や、SNSなどを通じた事業PR動画の周知による事業の普及啓発を行った結果、活動者等の登録の増加や活動機会の創出を図った。 ・更なる参加促進を図るため、引き続き、地域活動団体、NPO、企業等に対し、まちづくりセンターと連携しながら、本事業の参加方法、仕組みなどについて周知する必要がある。 ・市内全域において、本事業が活用されるよう、参加者(団体・個人)の登録促進や相談支援の充実を図る必要がある。	・活用促進が図られるよう、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修を行うほか、活動者の「励み」や実施団体の「活き向上」につながるよう、引き続き、まち活応援隊やまちづくりセンターと連携しながら、活動事例集や事業PR動画等を活用し、活動団体等に対する事業の理解促進、参加促進に向けた効果的な方策を検討し、実施していく。	みんなでまちづくり課	
12	【拡充】 活動体験機会の提供	若者やシニア世代等に対し、まちづくり活動への参加促進を図ります。	まちびあによる幅広い世代を対象とした体験講座等の開催に取り組みます。	定量	まちづくりセンターが開催するボランティア体験プログラム事業等参加者数(再掲) 設定理由:ボランティア初心者等を対象とした事業の参加者数を通じて無関心層等の意識改革の状況を把握できると考えられるため	人	目標値		400	425	450	475	500	若者やシニア世代等のまちづくり活動への参加を促進するため、まちづくりセンターによる幅広い世代を対象とした体験講座等を開催する。	・市民憲章に掲げる「明るく、楽しく、美しいまちづくり」の実現に向け、「市民の日記念のつどい」では市民憲章表彰を行ったほか、「フェスタmy宇都宮」の3X3同時開催や、「ウォーキングフェスタ」のコースにライトサイン発着点を絡めることで、市民やNPO、企業等に対し、広く市民憲章の周知啓発を図った。 ・市民憲章の普及啓発をより一層推進し、市民等の理解促進に努めていく必要がある。	・市民憲章推進協議会構成団体やNPO、企業等と連携しながら、引き続き、ホームページ、SNS、各種メディア等や、イベント等の機会を通じて市民憲章の普及啓発を図っていく。	みんなでまちづくり課	
13	(再)【新規】 まちづくりへの意識を高める学習の推進	自治会活動等のまちづくりについて知る機会や地域で互いに支え合う意識を高める学習の推進を図ります。	自治会をはじめとする地域まちづくり活動や地域共生社会の意識を高める学習機会の提供に取り組みます。	定量	地域学、宇都宮学の講座開催数 設定理由:まちづくりへの意識を高める学習機会を定量的に図ることができる数値であるため	回	目標値		32	34	36	38	40	郷土愛や住民意識を醸成し、地域づくりやまちづくりの取組を促進するきっかけとするため、全ての市民が地域課題や魅力を発見・共有する「地域学」、本市独自に創設した、宇都宮の歴史や文化を知る「宇都宮学」講座等を実施する。	・生涯学習センターで開催する様々な講座において、地域理解につながる内容を取り入れ、改めて自分の住む地域に目を向ける機会、考える機会をつくった。 ・実施にあたり、地域への興味や関心を促すだけでなく、受講者が地域の課題に気づき、課題解決に向けた主体的な学習・活動へ結び付けることが必要である。	地域理解につながる内容を講座に取り入れ、改めて自分の住む地域に目を向ける機会、考える機会を創出し、地域課題解決に向けた主体的な学習・活動へ結び付け、地域を支える人材の育成ができるよう取り組んでいく。	生涯学習課	

基本目標2 まちづくり活動へ参加しやすい機会と環境が充実している
基本施策2-2 参加しやすい環境の充実

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課	
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針		
14	【新規】 地域イベント等参加促進支援事業	地域共生社会の構築に向け、市民の市民活動参加への誘導や、住民同士の支え合いの促進を図ります。	地域住民同士の絆づくりの創出に向け、社会資源とのマッチングを行う仕組みを構築するなど、支え合いによる地域づくりへの支援に取り組みます。	定性	参加支援事業 【設定理由】 地域社会との繋がりが りづくりに のため	人	目標値 実績値 達成率 評価		※No.14「地域イベント等参加促進支援事業」については、令和5年度より開始した本市の「重層的支援体制整備事業」のうち「参加支援事業」が該当することから、当該事業の取組方針に基づき、評価を実施した。						地域社会との繋がりがりづくりに向け、個人の状況やニーズ等に応じ、福祉協力員や民生委員などの地域福祉の担い手が地域資源とのマッチングを支援します。	支援を必要とする本人(被支援者)などが適切な地域資源を簡単に検索し利用することができるよう、デジタルを活用した地域資源把握のための仕組み構築の検討を行った。また、社会との関係性が希薄化した被支援者と地域資源に結びつける役割を担う「参加支援コーディネーター(以下、コーディネーター)」の制度設計を行い、実施に向けて体制を整えた。	地域資源把握の仕組みについては、デジタル化を見据え、効果的効率的な地域資源の収集とデータベース化、データの検索・閲覧のし易さなどがポイントになることから、先進事例を調査・研究し、具現化に向けて検討を継続する。 コーディネーターについては、精神保健福祉士など、具体的な協力先を精査し、調整を実施する。	保健福祉総務課
15	【重点・新規】 「宮デジサポーター」養成事業	デジタルデバドへの対応として、スマートフォンの基礎的な操作方法などについて、正しい知識を習得できる環境の充実を図ります。	スマートフォンの基礎的な操作方法などについて教えることができる「宮デジサポーター」を養成し、日常生活や所属する地域活動団体等の普段の活動の中で、高齢者などに対して、スマートフォンに関する正しい知識や技術の伝達、支援などに取り組みます。	定量	宮デジサポーターの養成人数 設定理由:より多くの宮デジサポーターを養成することにより、デジタルを活用できる技術の格差の緩和に貢献すると考えられるため	人	目標値 実績値 達成率 評価			20	45	70	95	120	庁内各課と連携して、「宮デジサポーター講座」の受講者が、新たな宮デジサポーター候補となり得る地域人材を掘掘する仕組みを検討するとともに、宮デジサポーターが活動しやすい環境を整備しながら、宮デジサポーターの養成人数の増加や活動促進を図っていく。	当初想定していた2倍となる40名を養成するとともに、関係課や地域行政機関と連携しながら、活動機会の提供や宮デジサポーター同士の交流会の開催等を行った。	宮デジサポーターの養成人数を拡充するとともに、人に教えるスキルの向上や地域に密着した活動の促進に向けて、活動の機会や交流の機会を提供し、積極的な活動を促進できるよう支援していく。	デジタル政策課
16	【重点・新規】 外国人のまちづくり活動への参加促進	外国人のまちづくり活動への参加促進を図ります。	外国人市民のうち日本人との交流意欲の高い住民に、地域の構成員として様々なまちづくり活動に参加してもらうための仕組みづくりに取り組みます。	定性	外国人市民と日本人市民の相互理解を促進させるための仕組みづくり 設定理由:定量的な評価が馴染まないため	人	目標値 実績値 達成率 評価		事業内容 検討/モデル地区の選定		モデル地区での事業実施	市全域での事業実施	市全域での事業実施		外国人市民のまちづくり活動への参加促進を図るため、既存の多文化共生フォーラムや国際理解講座を通して交流に加え、地域内の外国人市民と日本人市民の相互理解を促進させるための仕組みづくりに取り組む。	・外国人市民に国際理解講座の講師や多文化共生フォーラムのパネリストとして参加してもらうことで、地域住民などとの交流が図られたほか、大学と地域に働きかけ、留学生の地域行事(秋祭りなど)への参加に繋げた。 ・地域行政機関へのヒアリングを行いながら、事業内容の検討を行った。	・今後も国際理解講座などを通して、外国人市民と地域の日本人との交流を促進していくとともに、外国人市民の地域行事への参加に向けては、参加したい行事として「祭り」が多いことから(R4調査)、地域のお祭りの情報などを提供していく。 ・引き続き、地域行政機関へのヒアリングを行いながら、地域内の外国人市民と日本人市民の相互理解を促進させるための仕組みづくりに取り組む。	多文化共生推進課 みんなでまちづくり課
17	【新規】 新たな担い手確保に向けた人材育成	生涯学習講座等で学んだ市民がその成果を地域で実践することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。	・まちびあや地域行政機関等において、生涯学習講座等で学んだ市民が、実際の地域活動やNPO活動などに生かすことができる仕組みづくりに取り組みます。 ・地域行政機関においては、生涯学習センター(人づくり)と地区市民センター等(まちづくり)の両機能を生かした仕組みの検討に取り組みます。	定性	新たな担い手確保に向けた人材育成の仕組みづくり 設定理由:定量的な評価が馴染まないため	人	目標値 実績値 達成率 評価		事業内容 検討	モデル地区での事業実施	市全域での事業実施	市全域での事業実施	市全域での事業実施		地域で活動する人材を育てるため、まちづくり活動への参加を促進させる講座を開催し、地域活動に携わるために必要な知識や手法等を学び、学んだ内容を地域で実践できるような仕組みづくりに取り組んでいく。	・社会教育実習生受入れに向けた宇都宮大学との調整を行った。 ・実習先の行政機関と円滑な連携を図るため、趣旨についての説明や実習先との調整が必要である。	・社会教育実習生が地域活動につながるよう促すとともに、連携先の拡大を図り、地域活動につながる仕組みづくりに取り組む。	生涯学習課 みんなでまちづくり課
18	多様な活動主体への支援 (まちびあ)	NPOや事業者等のまちづくり活動の促進や、市民活動団体における活動の活性化を図ります。	まちびあにおいて、各まちづくり活動主体からの活動参加や参加者確保のための相談支援とともに、活動資金など助成金募集や活動情報の発信に取り組みます。	定量	まちづくりセンターにおける活動の相談件数 設定理由:多様な活動主体への支援状況を定量的に測ることができるため	件	目標値 実績値 達成率 評価			500	525	550	575	600	NPOや企業等のまちづくり活動の促進や、市民活動団体における活動の活性化を図るため、まちづくりセンターにおいて、各活動主体からの相談支援や、活動情報の発信に取り組む。	・自治会をはじめとした活動団体やまちづくりに関心のある若者などの市民を対象とし、デジタルの活用などをテーマとしたまちづくり勉強会を開催するとともに、引き続き、まちづくり活動の活性化や活動主体間の連携・協力の促進に取り組む。 ・多様なまちづくり活動主体の連携・協力体制の強化を図るため、次期指定管理更新に向け、仕様書の見直しなどに取り組む。	みんなでまちづくり課	

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課	
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針		
19	多様な活動主体への支援 (地域行政機関)	市民が気軽にまちづくり活動に参加できるよう、まちづくり支援担当者による相談、支援等の充実を図ります。	地域行政機関において、地域のニーズを踏まえ、寄り添いながら、各まちづくり活動主体からの活動参加への相談支援や活動情報の発信に取り組みます。	定量	地域行政機関におけるまちづくり活動に関する相談支援数 設定理由:多様な活動主体への支援状況を定量的に測ることができるため	件	目標値			860	880	900	920	940	・地区市民センターなどの地域行政機関の職員を対象としたまちづくり支援担当者研修等において、職員のまちづくりに関する知識や資質の向上を図り、まちづくり活動等に関する相談支援の質の向上を図る。また、まちづくり活動応援事業を活用し、身近な活動の情報や地域の魅力を発信していく。	・地域みんなの夢実現事業の補助を5地区が活用し、各地域が抱えるそれぞれの課題やニーズに対し、地域の特性や地域の力を十分生かし、地域が主体的に取り組めるよう、地域行政機関と連携しながら、補助制度の活用や事業実施のアドバイス、他地区の取組事例の紹介などの支援により、地域ならではの資源や伝統文化を軸に地域間交流を行ったり、地域の特産品を活用した加工品の作成、文化遺産の伝承と情報発信など、特色ある地域づくりの促進を図ることができた。	・各地域が抱えるそれぞれの課題やニーズに対し、地域特性を活かしながら行う、地域主体のまちづくりを全市に広げるため、引き続き、地域みんなの夢実現事業の補助を継続するとともに、地域行政機関と連携し、地域まちづくり計画策定の促進、計画の具現化に向けた補助制度の活用や事業実施のアドバイス、他地区の取組事例の紹介などを行いながら、支援していく。	みんなでまちづくり課
							実績値	840	868									
							達成率	—	100.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A									
20	高齢者等地域活動支援ポイント事業	高齢者等の社会活動への参加促進を図ります。	介護保険施設等での支援活動などの「地域貢献活動」や「健康づくり活動」に対しポイントを付与し、貯めたポイントを活動奨励物品への交換やボランティア団体等への寄付に充てるシステムの活用の推進に取り組みます。	定量	高齢者等地域活動支援ポイント事業 延べ参加者数 設定理由:活動状況を定量的に評価する指標として、最も適切なデータであると考えられるため	人	目標値		14,780	—	—	—	—	より多くの高齢者に事業に参加いただくため、更なる事業周知に取り組みむとともに、健康ポイントやまちづくりポイントなど、類似する「ポイント」との統合やアプリによる事業参加などについて、検討に取り組んでいく。	・新型コロナウイルス感染症への行動制限の解除に伴い、多くの活動がコロナ禍前に戻りはじめた。 ・登録団体へのアンケート結果から、アプリ導入には様々な課題があることから、引き続きニーズの把握に努めることとした。	・全庁的なポイント事業の共通プラットフォームの枠組みに組み込んでもらうよう、デジタル政策課と連携していくとともに、アプリ導入に向け、一体的かつ効率的な運用の実施に備える。	高齢福祉課	
							実績値	14,042	14,335									
							達成率	—	97.0%	—	—	—	—					
							評価	—	B									
21	【新規】 「うつつのみやデジタルスクエア」の活用促進	「地域活動団体」を主な対象として、デジタルへの興味・関心を高め、デジタル化に係る交流を生み出す場などの創出を図ります。	Webサイト上でデジタルを活用した様々な取組を学ぶことができる機会やデジタル専門家に相談できる機会の提供に加え、デジタル専門家の地域への派遣支援やセミナー等の開催に取り組みます。	定量	「うつつのみやデジタルスクエア」におけるデジタル活用事例の掲載数(累計) 設定理由:地域活動団体等がデジタル技術を活用し、それぞれの課題を解決した事例をより多く掲載することにより、他の団体等のデジタル化に貢献すると考えられるため	件	目標値		18	26	34	42	50	・庁内各課と連携しながら、効果的にデジタルを活用している地域活動団体等の取組に関する情報を収集し、Webサイトに掲載していく。	庁内各課と連携し、効果的にデジタルを活用している地域活動団体の取組を追加掲載できた。	引き続き、地域のデジタル活用を促進するため、庁内各課と連携しながら、効果的にデジタルを活用している地域活動団体の取組に関する情報を収集し、Webサイトに掲載していく。	デジタル政策課	
							実績値	9	18									
							達成率	—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A									
22	地域集会所等建設費補助	地域コミュニティ活動の拠点となる集会所整備の促進と充実を図ります。	自治会等が所有する地域集会所等建設費の補助に取り組みます。	定量	地域集会所等建設費補助事業及び家賃補助事業申請件数 設定理由:補助金の活用状況を定量的に評価する指標として、最も適切なデータであると考えられるため	件	目標値		35	35	35	35	35	地域コミュニティ活動の拠点となる集会所の整備の促進と充実を図るため、自治会等が所有する地域集会所等建設費等補助金を交付を行う。	地域住民が活用しやすい居場所づくりのため、宇都宮市自治会連合会と連携しながら、新たな補助メニューの周知啓発に努め、活用促進を図るとともに、引き続き、空き家再生支援事業等とも連携しながら、自治会活動拠点の確保や整備促進を図っていく。	宇都宮市自治会連合会と連携しながら、新たな補助メニューの周知啓発に努め、活用促進を図るとともに、引き続き、空き家再生支援事業等とも連携しながら、自治会活動拠点の確保や整備促進を図っていく。	みんなでまちづくり課	
							実績値	34	39									
							達成率	—	111.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A									

【活動指標(基本目標2)】

指標名(単位)	項目	R3 (基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	R9
まちづくり活動応援事業 活動参加者数(人)	目標値							11,000
	実績値	3,825	5,035	6,683				
まちづくり活動応援事業 登録活動数(件)	目標値							2,800
	実績値	1,254	1,596	2,384				

基本目標3 まちづくり活動団体の活力が維持されている
基本施策3-1 団体の組織基盤強化

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課	
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針		
23	(再) まちづくり活動応援事業	まちづくり活動への参加促進と活動の活性化を図ります。	スマートフォンアプリやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、地域活動団体やNPOの活動情報の発信に取り組むとともに、活動参加者にポイントを付与します。	定量	まちづくり活動応援事業 活動参加者数(再掲) 設定理由:まちづくり活動応援事業の取組状況を定量的に測ることができるとため	人	目標値			7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	まちづくり活動への参加促進とまちづくり活動の活性化を図るため、スマートフォンやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、活動参加者にポイントを付与するとともに、地域活動団体等の活動情報を発信する。	・ 市内全域において、本事業が活用されるよう、引き続き、「まち活応援隊」(地域行政機関職員)による「1地区1モデル事業」の創出支援に取り組んだほか、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修に取り組むとともに、地域活動団体、NPO、企業等を対象とした事業説明会の開催や、SNSなどを通じた事業PR動画の周知による事業の普及啓発を行った結果、活動者等の登録の増加や活動機会の創出を図った。 ・ 更なる参加促進を図るため、引き続き、地域活動団体、NPO、企業等に対し、まちづくりセンターと連携しながら、本事業の参加方法、仕組みなどについて周知する必要がある。 ・ 市内全域において、本事業が活用されるよう、参加者(団体・個人)の登録促進や相談支援の充実を図る必要がある。	・ 活用促進が図られるよう、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修を行うほか、活動者の「励み」や実施団体の「活力向上」につながるよう、引き続き、まち活応援隊やまちづくりセンターと連携しながら、活動事例集や事業PR動画等を活用し、活動団体等に対する事業の理解促進、参加促進に向けた効果的な方策を検討し、実施していく。	みんなでまちづくり課
							実績値	5,035	6,683									
							達成率	—	95.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	B									
24	【重点・新規】 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業	地域の中で活動する様々な団体や個人、事業者及び行政が互いにその機能・役割について共通認識を持ち、課題を共有し、ネットワークを構築して、共に支え合うことができる体制づくりの推進を図ります。	「つながりサポート女性支援事業」等の既存事業との連携を図りながら、「地域づくり事業の実施」「参加支援事業の実施」に取り組みます。	定性	地域における支え合い活動の推進 【設定理由】 地域における支え合い活動の充実を図るため	—	目標値	※No.24「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業」については、令和5年度より開始した本市の「重層的支援体制整備事業」のうち「地域づくり事業」が該当することから、当該事業の取組方針に基づき、評価を実施した。なお、「参加支援事業の実施」についてはNo.14において評価を実施している。						第2層協議体等を通じて、子どもから高齢者、障がい者、外国人などに関する地域の課題を把握し、支え合い活動の推進を図ります。 ※ 現在、地域の支え合い活動を支援する組織体である支え合い協議会設立に向け、関係団体と調整中	・地域共生社会の実現に向け、地域における支え合い活動の重要性などについて、市民や地域団体、第2層協議体等を対象に説明を行ったことにより、一定の意識醸成を図ることができた。 ・今後、地域における支え合い活動に対する理解向上や参加促進を図るためには、説明等の機会を継続的に確保するとともに、地区の意向や状況などを踏まえながら、適切な支援に取り組む必要がある。	・引き続き、地域共生社会の実現に向けた周知啓発の取組において、第2層協議体の場を活用した意識醸成などに取り組んでいくとともに、世代や属性を問わない福祉課題の解決に向けて取組を行う意向がある地区に対して、こうした取組の検討の場となる「地域支え合い協議体の設置」(第2層協議体の共生型化)への支援を実施していく。	保健福祉総務課 みんなでまちづくり課	
							実績値											
							達成率	—	—	—	—	—	—					
							評価	—	A	—	—	—	—					
25	(再)【新規】 「うつのみやデジタルスクエア」の活用促進	「地域活動団体」を主な対象として、デジタルへの興味・関心を高め、デジタル化に係る交流を生み出す場などの創出を図ります。	Webサイトでデジタルを活用した様々な取組を学ぶことができる機会やデジタル専門家に相談できる機会の提供に加え、デジタル専門家の地域への派遣支援やセミナー等の開催に取り組みます。	定量	「うつのみやデジタルスクエア」におけるデジタル活用事例の掲載数(累計) 設定理由:地域活動団体等がデジタル技術を活用し、それぞれの課題を解決した事例をより多く掲載することにより、他の団体等のデジタル化に貢献すると考えられるため	件	目標値		18	26	34	42	50	・庁内各課と連携しながら、効果的にデジタルを活用している地域活動団体等の取組に関する情報を収集し、Webサイトに掲載していく。	庁内各課と連携し、効果的にデジタルを活用している地域活動団体の取組を掲載できた。	引き続き、庁内各課と連携しながら、地域のデジタル活用を促進するため、効果的にデジタルを活用している地域活動団体の取組に関する情報を収集し、Webサイトに掲載していく。	みんなでまちづくり課	
							実績値	9	18									
							達成率	—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A									

基本目標3 まちづくり活動団体の活力が維持されている
基本施策3-2 団体の育成・強化

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課	
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針		
26	【重点・拡充】 自治会活動の活性化及び加入促進に向けた取組の強化	地域コミュニティの基盤である自治会への加入促進・退会防止や活動の活性化に向け、様々な取組による活力維持を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けた具体的な手法を学ぶ「自治会活動・元気アップ研修会」や、他のモデルとなる新たな取組を創出する「魅力ある自治会づくり支援事業」等の実施により、自治会加入促進及び活動の活性化に向けた支援に取り組めます。 若者や女性などの多様な人々のまちづくり活動への参加促進や、役員の負担軽減のためのデジタルを活用した団体運営などへの支援に取り組めます。 	定量	魅力ある自治会づくり支援事業補助金交付件数	世帯	目標値		10	20	20	20	20	20	地域コミュニティの基盤である自治会への加入促進・退会防止に向けた取組による活力維持を図るため、自治会シンポジウムや自治会活動・元気アップ研修会の開催や、魅力ある自治会づくり支援事業補助金の交付、デジタルを活用した役員の負担軽減の取組を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 「自治会活動・元気アップ研修会」を2回開催し、地域の現状把握の必要性や、住民ニーズ把握の方法と実践例を内容として、多くの自治会長等に活動や運営のあり方について学びの機会を提供することができ、自治会長等の改革意識の醸成を図ることができた。 「魅力ある自治会づくり支援事業補助金」の交付により、「宮PASS」を活用した自治会加入促進や「地域の防災意識の向上」など、自治会の課題解決に向けた地域主体の取組が行われ、自治会の魅力を高めることができた。 自治会加入促進や活動の活性化にあたっては、宇都宮市自治会連合会等と連携しながら支援を継続し、これまでの取組により得られた成果を全市に波及させていくほか、自治会長等をはじめとした市民の自治会に対する意識の改革を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に対する、市、市民、事業者などの責務等を明示した条例の制定に向けて検討する。 マンションの建設や住宅地の開発などを予定している地区(自治会)にアドバイザーを派遣し、地域と連携しながら加入促進に取り組むとともに、全市的に活用できる加入促進マニュアルを作成するため、「大規模分譲住宅等における自治会加入促進業務委託」を実施する。 「宮PASS」のサービス提供施設の拡充や、サービスの効果的な周知啓発を支援するとともに、「宮PASS」スタンプラリーの実施を支援していく。 「魅力ある自治会づくり支援事業補助金」の拡充をすることにより、自治会自らが行う加入促進や退会防止に向けた「魅力ある自治会づくり」の取組を支援する。 自治会活動の中で生じた法律的な問題に関して、専門家との相談を支援する。 宇都宮市自治会連合会事務局に新たに自治会加入促進支援員を1名配置し、自治会における加入促進・退会防止等の支援を行う。 	みんなでまちづくり課
							実績値	10	10									
							達成率	—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A									
27	【重点・新規】 地域デジタル化の推進	電子閲覧板やオンライン会議、LINE等の活用による情報共有の迅速化など、団体運営の効率化に伴う自治会役員等の負担軽減や、地域活動への参加者・担い手の確保を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> スマホ基礎講座・生涯学習講座等の開催による「デジタルデバッド対策」や「デジタル人材の育成」、相談体制の整備や補助金の創設等による「環境の整備支援」に取り組めます。 	定性	地域活動団体デジタル活用支援事業補助金の創設(R6以降:地域活動団体デジタル活用支援事業補助金の交付団体数)	-	目標値		補助金創設	10	10	10	10	団体運営の効率化に伴う自治会役員等の負担軽減や、地域活動への参加者・担い手の確保に寄与するため、令和6年度に自治会等のデジタル化を支援する新たな補助金を創設する。	自治会や地域まちづくり組織におけるデジタル活用を支援するための新たな補助金の創設に向け、10団体に対する支援に必要な事業費を令和6年度予算に計上した。	補助金の対象団体への積極的な周知に取り組むとともに、補助金の活用事例の情報共有を行うことにより、補助金の効果的な利用促進を図る。	みんなでまちづくり課 生涯学習課 デジタル政策課	
							実績値	—	—									
							達成率	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A									
28	(再)【新規】 新たな担い手確保に向けた人材育成	生涯学習講座等で学んだ市民がその成果を地域で実践することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。	自治会活動や防犯活動、文化振興等、まちづくりに関わり、支えるボランティア等の人材育成や活動を促す手法等の検討に取り組めます。	定性	新たな担い手確保に向けた人材育成の仕組みづくり	-	目標値		事業内容検討	モデル地区での事業実施	市全域での事業実施	市全域での事業実施	市全域での事業実施	地域で活動する人材を育てるため、まちづくり活動への参加を促進させる講座を開催し、地域活動に携わるために必要な知識や手法等を学び、学んだ内容を地域で実践できるような仕組みづくりに取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育実習生受入れに向けた宇都宮大学との調整を行った。 実習先の行政機関と円滑な連携を図るため、趣旨についての説明や実習先との調整が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育実習生が地域活動につながるよう促すとともに、連携先の拡大を図り、地域活動につながる仕組みづくりに取り組む。 	生涯学習課 みんなでまちづくり課	
							実績値	-										
							達成率	—	—	—	—	—	—					
							評価	—	A	—	—	—	—					

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
29	【重点・新規】 女性や女性団体の活躍に向けた支援	自治会をはじめとする地域活動団体等において、女性や女性団体の活躍促進を図ります。	地域まちづくりに係る補助金等を活用するなど、「男女共同参画・女性活躍」を支援する手法の検討に取り組みます。	定性	魅力ある自治会づくり支援事業補助金を活用した女性活躍促進に向けた支援手法の検討状況 設定理由: 定量的な評価が馴染まないため	-	目標値		事業内容検討	地域における女性活躍の事例集作成	事例集を活用した地域への説明会の実施	事例集を活用した地域への説明会の実施	事例集を活用した地域への説明会の実施	自治会等における女性や女性団体の活躍促進を図るため、魅力ある自治会づくり支援事業補助金を活用した女性活躍促進に向けた支援手法の検討に取り組んでいく。	・「魅力ある自治会づくり支援事業補助金」の対象要件において、「女性活躍促進」に係る事業を追加した。	・各地域における男女共同参画に向けた取組の集積を行い、事例集の作成を行う。 ・女性や女性団体の活躍促進を目的とした「魅力ある自治会づくり支援事業補助金」の活用に向け、作成する事例集を用いたより効果的な全市域への周知啓発を行う。	みんなであちづくり課 男女共同参画課
30	【再】【重点・新規】 「宮デジサポーター」養成事業	デジタル人材の育成により、デジタルデハイドへの対応を図ります。	スマートフォンの基礎的な操作方法などについて、身の回り的高齢者等に対して教えることができる「宮デジサポーター」を養成するための講座の開催に取り組めます。	定量	宮デジサポーターの養成人数 設定理由: より多くの宮デジサポーターを養成することにより、デジタルを活用できる技術の格差の緩和に貢献すると考えられるため	人	目標値		20	45	70	95	120	庁内各課と連携して、「宮デジサポーター講座」の受講者が、新たな宮デジサポーター候補となり得る地域人材を発掘する仕組みを検討するとともに、宮デジサポーターが活動しやすい環境を整備しながら、宮デジサポーターの養成人数の増加や活動促進を図っていく。	当初想定していた2倍となる40名を養成するとともに、関係課や地域行政機関と連携しながら、活動機会の提供や宮デジサポーター同士の交流会の開催等を行った。	宮デジサポーターの養成人数を拡充するとともに、人に教えるスキルの向上や地域に密着した活動の促進に向けて、活動の機会や交流の機会を提供し、積極的な活動を促進できるよう支援していく。	デジタル政策課
31	地域まちづくり組織の活性化支援	各地区においてまちづくり活動を行う各種団体の活力維持を図ります。	協働の地域づくり支援事業補助金等により、各種団体の円滑な連携・協力による地域の活性化を図る取組を支援します。	定量	協働の地域づくり支援事業補助金を活用した事業件数 設定理由: 各地区のまちづくり活動団体の活動の活性化を定量的に測ることができるため	件	目標値		420	420	420	420	420	各地区におけるまちづくり活動の各種団体の活力維持を図るため、協働の地域づくり支援事業補助金等の交付により、各種団体の円滑な連携・協力を図る取組を支援する。	・「地域みんなの夢実現事業」の補助を5地区が活用し、各地域が抱えるそれぞれの課題やニーズに対し、地域行政機関と連携しながら、補助制度の活用や事業実施のアドバイス、他地区の取組事例の紹介などの支援により、地域ならではの資源や伝統文化を軸に地域間交流や、地域の特産品を活用した加工品の作成、文化遺産の伝承と情報発信など、地域自らが地域特性等を生かし、主体的に取り組む特色ある地域づくりを支援した。 ・地域まちづくり組織の円滑な運営に向けて、適切な支援となるよう、補助の充実を図る必要がある。	・令和6年度から、「協働の地域づくり支援事業補助金」の補助メニューである「事務局等支援事業」の補助額を拡充するとともに、引き続き、他地区の取組事例の紹介などを行いながら、地域まちづくり計画の具現化に向けた「協働の地域づくり支援事業補助金」の活用促進を図り、地域特性を生かした地域主体のまちづくりを支援していく。	みんなであちづくり課
32	【再】 まちづくり活動応援事業	まちづくり活動への参加促進と活動の活性化を図ります。	スマートフォンアプリやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、地域活動団体やNPOの活動情報を発信に取り組むとともに、活動参加者にポイントを付与します。	定量	まちづくり活動応援事業活動参加者数(再掲) 設定理由: まちづくり活動応援事業の取組状況を定量的に測ることができるため	人	目標値		7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	まちづくり活動への参加促進とまちづくり活動の活性化を図るため、スマートフォンやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、活動参加者にポイントを付与するとともに、地域活動団体等の活動情報を発信する。	・市内全域において、本事業が活用されるよう、引き続き「まち活応援隊」(地域行政機関職員)による「1地区1モデル事業」の創出支援に取り組んだほか、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修に取り組むとともに、地域活動団体、NPO、企業等を対象とした事業説明会の開催や、SNSなどを通じた事業PR動画の周知による事業の普及啓発を行った結果、活動者等の登録の増加や活動機会の創出を図った。 ・更なる参加促進を図るため、引き続き、地域活動団体、NPO、企業等に対し、まちづくりセンターと連携しながら、本事業の参加方法、仕組みなどについて周知する必要がある。 ・市内全域において、本事業が活用されるよう、参加者(団体・個人)の登録促進や相談支援の充実を図る必要がある。	・活用促進が図られるよう、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修を行うほか、活動者の「励み」や実施団体の「活力向上」につながるよう、引き続き、まち活応援隊やまちづくりセンターと連携しながら、活動事例集や事業PR動画等を活用し、活動団体等に対する事業の理解促進、参加促進に向けた効果的な方策を検討し、実施していく。	みんなであちづくり課

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
33	市民活動助成事業	市民活動団体に対する活動支援により、自立化・活発化を図ります。	公益的な活動に対して事業費の一部を助成する「市民活動助成制度」の更なる周知を図り、活用の促進に取り組めます。	定量	助成団体数 設定理由:市民活動団体の自立化・活発化を定量的に測ることができるため	件	目標値		17	17	17	19	19	市民活動団体の自立化、活発化を図るため、市民活動助成制度により、公益的な活動の事業費の一部を助成する。	令和5年度の目標値は19団体、実績値は13団体。市民協働のまちづくりを推進することができた。より多くの市民活動団体が助成事業を活用できるよう、まちづくりセンターと連携しながら、市民活動団体への周知を行い、団体の活動の活性化を図る必要がある。	市民活動団体が、活動を継続し、自立できるよう、引き続き、まちづくりセンターと連携しながら、団体の申請促進や活動支援に努めていく。	みんなでまちづくり課
							実績値	17	13								
							達成率	—	76.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
							評価	—	B								
34	団体の組織基盤強化への支援	団体が自分たちの活動資金を自ら創出し、団体の自立や活動の継続を図ります。	ビジネスの視点をもった財源確保に関する講座の開催や相談対応等の支援に取り組めます。	定量	まちづくりセンターにおける講座・相談会開催数 設定理由:団体の組織基盤強化への支援を定量的に測ることができるため	件	目標値		10	10	12	12	12	市民活動団体が活動資金を自ら創出し活動を継続していくため、まちづくりセンターにおいて、財源確保に関する講座の開催や相談対応を行う。	市民協働のまちづくりの拠点施設として、まちづくりに関する相談対応やボランティア等の人材育成支援などに取り組んだ結果、利用者による事業評価アンケートにおいて、高い水準の満足度を維持することができた。地域活力の維持・向上を図るため、大学生等の若者のボランティアへの参加促進や、地域活動団体等の運営や団体間の連携などを支援していく必要がある。	自治会をはじめとした活動団体やまちづくりに関心のある若者などの市民を対象とし、デジタルの活用などをテーマとしたまちづくり勉強会を開催するとともに、引き続き、まちづくり活動の活性化や活動主体間の連携・協力の促進に取り組む。 多様なまちづくり活動主体の連携・協力体制の強化を図るため、次期指定管理更新に向け、仕様書の見直しなどに取り組む。	みんなでまちづくり課
							実績値	10	13								
							達成率	—	130.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
							評価	—	A								
35	【新規】宇都宮市ふるさと納税公益活動支援事業	市民による公益に資する団体(特定公益増進法人、NPO、認可地縁団体)の活動の維持・強化を図ります。	ふるさと納税制度を活用し、市が寄付の受入先となり、公益活動団体の「資金調達」の支援に取り組めます。	定量	補助決定団体数 設定理由:より多くの団体に対する支援を行うことにより、民間主体の公益的活動の活性化が図られると考えられるため。	団体	目標値		9	10	10	11	11	ふるさと納税の仕組みを活用し、公益的活動を行う団体を財政的に支援することで、民間主体の公益的活動の更なる活性化を図る。 令和5年度においては、当初目標としていた9団体を超過する10団体に対し補助決定を行ったが、寄附額については目標額に達した団体が1団体にとどまるなど、寄附の受入れについて課題が残った。	引き続き、補助決定団体数の増加に係る取組を継続するとともに、寄附額の増加については、寄附募集先の充実に努める	都市ブランド戦略課	
							実績値	9	10								
							達成率	—	111.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
							評価	—	A								

【活動指標(基本目標3)】

指標名(単位)	項目	R3 (基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	R9
市民活動助成団体数(団体)	目標値							20
	実績値	17	17	13				
「うつのみやデジタルスクエア」におけるデジタル活用事例の掲載数(累計)(件)	目標値							50
	実績値	3	9	18				
自治会加入世帯数(世帯)	目標値							150,000
	実績値	148,370	147,818	146,789				

基本目標4 まちづくり活動主体連携・協力が広がっている
基本施策4-1 民間活力の活用促進

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
36	【重点・拡充】 公民連携事業の推進	顕在化・多様化する社会的課題の解決を図ります。	民間事業者や行政が持つノウハウや資源を効果的に活用し、相互の信頼関係向上に向けた情報の積極的な提供や、「みや・公民連携デスク」、「包括連携事業」などの連携事業に取り組みます。	定量	民間事業者との協議案件数 設定理由:民間活力の活用の促進に資するため	件	目標値 実績値 達成率 評価		30 23 76.7% B	30 0.0%	30 0.0%	30 0.0%	30 0.0%	市及び民間事業者双方にメリットのある連携事業とするため、「みや・公民連携デスク」で一次的に相談・対応等を行うとともに、課題解決型の提案募集など新たな事業連携手法を検討し、「みや・公民連携デスク」の充実・強化を図る。	・民間事業者等との連携協定に基づき、民間事業者のノウハウ等を活用した事業を行った。 ・本市の課題解決に民間事業者のノウハウ等を効果的に活用できるよう、積極的な活用・連携方法を検討し、具体的な取組を導出する必要がある。	・公民連携に向けた取組を強化するため、市民・事業者・NPO等、本市のまちづくりの主体が一体となり、柔軟な発想や民間アイデア等を取り入れ、市民サービスの向上や新たな価値の創造を目指す「共創のまちづくり」を推進する。	政策審議室(地域振興・共創推進室)
37	【重点・拡充】 NPO等による地域課題等への取組の推進	NPO等のスキルを活用し、行政課題や地域課題に対応するほか、地域活動団体とNPOが連携したまちづくり活動の推進を図ります。	地域の一員として、NPO等の民間スキルを活用できるよう、地域との連携・協力の支援強化に取り組めます。	定量	まちづくりセンターにおける団体間連携事業数 設定理由:連携・協力の支援強化を定量的に測ることができるため	件	目標値 実績値 達成率 評価		10 13 130.0% A	10 0.0%	10 0.0%	10 0.0%	地域活動団体とNPOが連携したまちづくり活動の推進を図るため、まちづくりセンターにおいて、地域活動団体が抱える課題に対し、NPO等が持つスキルを活用できるよう、連携・協力の支援を強化する。	・市民協働のまちづくりの拠点施設として、まちづくりに関する相談対応やボランティア等の人材育成支援などに取り組んだ結果、利用者による事業評価アンケートにおいて、高い水準の満足度を維持することができた。 ・地域活力の維持・向上を図るため、大学生等の若者のボランティアへの参加促進や、地域活動団体等の運営や団体間の連携などを支援していく必要がある。	・自治会をはじめとした活動団体やまちづくりに関心のある若者などの市民を対象とし、デジタルの活用などをテーマとしたまちづくり勉強会を開催するとともに、引き続き、まちづくり活動の活性化や活動主体間の連携・協力の促進に取り組む。 ・多様なまちづくり活動主体の連携・協力体制の強化を図るため、次期指定管理更新に向け、仕様書の見直しなどに取り組む。	みんなでまちづくり課	
38	(再) まちづくり活動応援事業	まちづくり活動への参加促進と活動の活性化を図ります。	スマートフォンアプリやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、地域活動団体やNPOの活動情報を発信に取り組むとともに、活動参加者にポイントを付与します。	定量	まちづくり活動応援事業活動参加者数(再掲) 設定理由:まちづくり活動応援事業の取組状況を定量的に測ることができるため	人	目標値 実績値 達成率 評価		7,000 6,683 95.5% B	8,000 0.0%	9,000 0.0%	10,000 0.0%	11,000 0.0%	まちづくり活動への参加促進とまちづくり活動の活性化を図るため、スマートフォンやホームページを活用した「まちづくり活動応援事業」により、活動参加者にポイントを付与するとともに、地域活動団体等の活動情報を発信する。	・市内全域において、本事業が活用されるよう、引き続き、「まち活応援隊」(地域行政機関職員)による「1地区1モデル事業」の創出支援に取り組んだほか、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修に取り組むとともに、地域活動団体、NPO、企業等を対象とした事業説明会の開催や、SNSなどを通じた事業PR動画の周知による事業の普及啓発を行った結果、活動者等の登録の増加や活動機会の創出を図った。 ・更なる参加促進を図るため、引き続き、地域活動団体、NPO、企業等に対し、まちづくりセンターと連携しながら、本事業の参加方法、仕組みなどについて周知する必要がある。	・活用促進が図られるよう、アプリの操作性(検索方法など)の改善に向けた画面改修を行うほか、活動者の「励み」や実施団体の「活力向上」につながるよう、引き続き、まち活応援隊やまちづくりセンターと連携しながら、活動事例集や事業PR動画等を活用し、活動団体等に対する事業の理解促進、参加促進に向けた効果的な方策を検討し、実施していく。	みんなでまちづくり課
39	(再) 市民活動助成事業	NPOや事業者等が連携し、互いの強みを生かしてまちづくり活動に取り組む事業の創出を図ります。	まちづくり活動団体がNPOや事業者等と連携して行う公益的な活動に対し、事業費の一部を助成する「市民活動助成事業」の充実や効果的な周知に取り組めます。	定量	助成団体数 設定理由:市民活動団体の自立化・活発化を定量的に測ることができるため	件	目標値 実績値 達成率 評価		17 13 76.5% B	17 0.0%	17 0.0%	19 0.0%	19 0.0%	13団体に対してまちづくり活動に要する費用の一部を助成することにより、シニア世代向けの携帯・スマホ勉強会の開催や、自然科学をテーマとしたイベントの開催など、団体の自主的で公益的な活動を支援し、市民協働のまちづくりを推進することができた。 ・より多くの市民活動団体が助成事業を活用できるよう、まちづくりセンターと連携しながら、市民活動団体への周知を行い、団体の活動の活性化を図る必要がある。	・市民活動団体が、活動を継続し、自立できるよう、引き続き、まちづくりセンターと連携しながら、団体の申請促進や活動支援に努めていく。	みんなでまちづくり課	

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
40	市内大学との連携	複雑・多様化する行政課題を解決するため、市内大学との連携を図ります。	市内大学との共同研究などにより、大学の有する人的・知的資源を効果的に活用するとともに、大学生への政策情報の発信等により、本市のまちづくりに対する関心を高め、実践的に活動する機会の提供に取り組めます。	定量	大学研究者との共同研究や本市事業への運営支援の件数 設定理由:大学との共同研究等や、大学生への政策情報の発信等の件数が増加することにより、学生等の本市のまちづくりに対する関心が高まることが考えられるため	件	目標値		75	75	75	75	75	多様化する行政課題解決のため、引き続き大学の有する知的・人的資源を効果的に活用するとともに、大学生への本市のまちづくりに対する関心を高め、活動する機会を提供する必要があるため、引き続き、本市における調査研究や政策立案、事業実施において、市内大学等から情報収集を行いながら、連携を図っていく。	・複雑・多様化する行政課題の解決に向けて、中長期的な視点に基づき、今後顕在化が予測される課題に対する調査研究を行ったほか、既に顕在化しており短期的に取り組むべき行政課題への対応策や政策の提案に取り組んだ。 ・まちづくり提案では、幅広い分野の大学や専門学校の学生が参加できるよう、調査研究部門に加え、SSC創作表現部門・ロゴデザイン部門を新設し、テーマに沿った創作物等も発表できる場を提供した。	・今後も大学や民間シンクタンクと連携した専門性の高い調査研究を実施し、将来的な課題解決に寄与する政策の提案に取り組むほか、政策立案、事業実施において、本市が有する大学等とのネットワークを活用し、連携を強化していく。	市政研究センター
41	CSR認証事業	様々な分野での活動を総合的に支援・推奨し、市民・事業者・行政の協働のまちづくりの推進を図ります。	CSR活動を行う企業を「宇都宮まちづくり貢献企業」として認証し、企業の地域貢献活動を促進させるほか、CSRセミナーを実施することで、市民や企業のCSR活動の意識向上に取り組めます。	定量	CSRセミナー等の実施回数 設定理由:CSR活動の意識向上に資するため	回	目標値		1	1	1	1	1	市民、企業に対するCSR活動の普及・啓発を図るためには、「CSR認証企業」の拡充を図ることが重要であることから、融資や入札加点以外にも事業者の人材確保に向けた支援策など、既存の認証企業及び新規申請企業がより一層魅力を感じられる支援策を検討するほか、親和性の高いSDGsの考え方と本制度の紐づけなどを実施しながら、引き続き「CSR認証制度」を推進していく。	・認証企業向けCSRセミナーなどに加え、「じぶん×未来フェア」への優先出展や認証企業のPR動画の放映など、制度の周知・理解促進や人材確保支援の実施を行いながら、企業のCSR活動を広く周知した。 ・認証企業への支援策については、業種を問わず、さらに魅力を感じられる支援内容となるよう検討する必要がある。	・制度融資や入札加点以外にも事業者の人材確保に向けた支援策など、既存の認証企業及び新規申請企業がより一層魅力を感じられる恩恵を検討していく。 ・親和性の高いSDGsの考え方と本制度の紐づけなどを実施しながら、引き続き「CSR認証制度」を推進していく。	商工振興課

基本目標4 まちづくり活動主体連携・協力が広がっている
基本施策4-2 コーディネート機能強化

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
42	多様な活動主体への参加促進支援事業	まちづくり活動への参加促進と活動の活性化を図ります。	まちびあや地域行政機関などのコーディネート機能を有する支援施設間の情報交流機会を創出するとともに、コーディネート力の強化を図り、更なる支援に取り組みます。	定量	まちびあとの合同によるまちづくり支援担当者研修参加者数 設定理由:地域行政機関とまちびあとの情報交流機会を継続的に確保するため	回	目標値		15	15	15	15	15	地域行政機関とまちびあとの情報交流機会を創出するため、「まちづくり支援担当者研修」にまちびあ職員との参加の場を設けるとともに、グループワークなどを通して、相互に課題を共有し、解決策を検討することで、コーディネート力の強化を図る。	・「まちづくり支援担当者研修」をまちびあで開催し、まちびあ職員を参加させることで、地域行政機関とまちびあとの情報交流の機会を創出し、連携の強化を図ることができた。	・引き続き、「まちづくり支援担当者研修」において、地域行政機関とまちびあとの情報交流の場の創出を行う。	みんなでまちづくり課
							実績値	13	14								
							達成率	—	93.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
							評価	—	B								
43	職員向け研修等の開催	地域行政機関職員等のコーディネート能力の向上を図ります。	職員向けに、協働を円滑に進めるための手順や協働事例の情報提供などの研修会の開催に取り組みます。	定性	まちづくり支援に係る職員研修開催数 設定理由:まちづくり支援に係る学習機会を継続的に確保するため	回	目標値		4	4	4	4	4	新任所長や副所長、まちづくり支援担当者を対象に、地域のキーマンとのコミュニケーションや地域の情報収集、地域への関わり方等、まちづくりの基本知識を身に付けるための研修を開催する。	・まちづくり支援担当職員のコーディネート能力向上のため、「まちづくり支援担当者研修」において、まちづくり活動を行う地域人材の育成や「まちづくり活動における各団体の連携・協力体制の強化」などについて意見交換等を実施した。 ・市民協働推進員に対し、市民協働の基本的な考え方や市民協働推進員の役割についての研修を実施した。	・引き続き、地域行政機関職員やまちづくり支援担当職員、市民協働推進員の育成研修等に積極的に取り組んでいく。	みんなでまちづくり課
							実績値	4	4								
							達成率	—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
							評価	—	A								

基本目標4 まちづくり活動主体連携・協力が広がっている
基本施策4-3 ネットワークづくり

取組番号	取組・事業名	事業概要		指標種別	指標名 (下段:設定理由)	単位	項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	取組方針	R5-R6		担当課
		事業目的	事業内容												令和5年度の評価(成果・課題)	今後の取組方針	
44	(再)【新規】 「うつつのみやデジタルスクエア」の活用促進	「地域活動団体」を主な対象として、デジタルへの興味・関心を高め、デジタル化に係る交流を生み出す場などの創出を図ります。	Webサイトでデジタルを活用した様々な取組を学ぶことができる機会やデジタル専門家に相談できる機会の提供に加え、デジタル専門家の地域への派遣支援やセミナー等の開催に取り組みます。	定量	「うつつのみやデジタルスクエア」におけるデジタル活用事例の掲載数(累計) 設定理由:地域活動団体等がデジタル技術を活用し、それぞれの課題を解決した事例をより多く掲載することにより、他の団体等のデジタル化に貢献すると考えられるため	件	目標値		18	26	34	42	50	・庁内各課と連携しながら、効果的にデジタルを活用している地域活動団体等の取組に関する情報を収集し、Webサイトに掲載していく。	庁内各課と連携し、効果的にデジタルを活用している地域活動団体の取組を掲載できた。	引き続き、庁内各課と連携しながら、地域のデジタル活用を促進するため、効果的にデジタルを活用している地域活動団体の取組に関する情報を収集し、積極的な活動を促進できるよう支援していく。	デジタル政策課
							実績値	9	18								
							達成率	—	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A								
45	多様な活動主体の連携支援事業	まちづくり活動主体同士の交流機会の創出や連携・協力による地域づくりを促進します。	まちびあや地域行政機関等の支援施設間の連携・協力体制を構築し、多様な活動主体のネットワークづくりの支援に取り組みます。	定量	まちびあとの合同によるまちづくり支援担当者研修者数(累計) 設定理由:地域行政機関とまちびあとの情報交流機会を継続的に確保し、ノウハウの共有を図るため	回	目標値		24	36	48	60	72	・自治会や地域まちづくり組織等を中心に支援を行う地域行政機関と、NPO等を中心に支援を行うまちづくりセンターがお互いのノウハウ等を共有する場を設けるとともに、他団体との連携を希望する活動主体同士のネットワークづくりにつながる交流の機会等を創出する。	・「まちづくり支援担当者研修」をまちびあで開催し、まちびあ職員を参加させることで、地域行政機関とまちびあとの情報交換の機会を創出し、地域支援に関するノウハウの共有を図ることができた。 ・2月に開催した「自治会シンポジウム」において自治会とNPO、企業等との連携事例の情報発信を行った。	・引き続き、「まちづくり支援担当者研修」において、地域行政機関とまちびあとの情報交換の場の創出を行うとともに、他団体との連携を希望する活動主体同士のネットワークづくりに向け、地域活動団体等に対して具体的な連携の希望の有無に関する意向調査を実施する。	みんなでまちづくり課
							実績値	13	27								
							達成率	—	112.5%	0.0%	0.0%	0.0%					
							評価	—	A								

【活動指標(基本目標4)】

指標名(単位)	項目	R3 (基準値)	R4	R5	R6	R7	R8	R9
公民連携デスクにおける相談件数(件)	目標値							30
	実績値	30	23	23				
まちびあ相談件数(件)	目標値							600
	実績値	426	498	402				